

第六十五旅團工兵隊將校職員表 昭和十七年十月一日

隊長 隊員

(正) 少佐 堀地 芳馬

- | | |
|---------------|--------------|
| (正) 中尉 藤村 重任 | (正) 中尉 大木 一雄 |
| (正) 中尉 北村 嘉四郎 | (正) 見士 松本 勇 |
| (正) 中尉 津原 弘 | (正) 中尉 鬼玉 安郎 |
| (正) 中尉 若林 高行 | |
| (正) 中尉 岡田 富 | |
| (正) 見士 池内 利廣 | |
| (正) 見士 木村 靖和 | |
| (正) 見士 加藤 利徳 | |

備

考

第六十五旅團工兵隊准士官職員表 昭和七年十月一日調

六部		第一小隊		第二小隊		第三小隊		第四小隊		鐵道小隊	
曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長
渡邊久夫	坂西茂	石原茂	山形忠夫	林九二	小杉邦光	下坂一郎	大内隆一	森高德	松原信己	横山勝己	松原信己
兵准尉	兵准尉	兵准尉	兵准尉	兵准尉	兵准尉	兵准尉	兵准尉	兵准尉	兵准尉	兵准尉	兵准尉
大光中朗	小早川利夫	川端長男	松井乾政	新藤克							
曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長
藤野正徳	藤野正徳	藤野正徳	藤野正徳	藤野正徳	藤野正徳	藤野正徳	藤野正徳	藤野正徳	藤野正徳	藤野正徳	藤野正徳
曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長
合田清	中島茂	村上三郎	村上三郎	村上三郎	村上三郎	村上三郎	村上三郎	村上三郎	村上三郎	村上三郎	村上三郎
曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長	曹長
二兵團勤務	二兵團勤務	二兵團勤務	二兵團勤務	二兵團勤務	二兵團勤務	二兵團勤務	二兵團勤務	二兵團勤務	二兵團勤務	二兵團勤務	二兵團勤務
伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長	伍長
萩尾齊	萩尾齊	萩尾齊	萩尾齊	萩尾齊	萩尾齊	萩尾齊	萩尾齊	萩尾齊	萩尾齊	萩尾齊	萩尾齊

1645

部隊業務分擔表

昭和十七年十月一日期
夏第九八五六部隊

主任者	分擔業務	補助者	手摺	要
藤	報告類 二依ル諸報告 各部ニ属スル手摺 人事ニ関スル業務 一、考科補任被任官上中 二、叙任、叙免 三、褒賞、懲罰、及休職 四、兵動通報ノ点検 五、停年名簿ノ補修、戦時名簿 功績ニ関スル事項	渡邊曹長	伊藤上等兵	
中村	命令、會報、起案、傳達、二 情報ノ收集整理 文書ノ受付、配布、發送 陣中日誌ノ記載 戦闘要(詳)報ノ調製 郵便物ニ関スル事項	坂田曹長	原田兵長 栗田上等兵 冲原一等兵 村上一等兵	
岡	通信連絡(時号)答ハ爾スル事項 戦時名簿功績ニ関スル事項	林軍曹	河野兵長 窪田一等兵	
田	教育ニ関スル事項	石原軍曹	原田兵長 栗田上等兵 冲原一等兵	
中	馬匹ニ関スル事項	江本軍曹		
村	兵隊教育、資材、倉庫、糧秣ニ関スル事項 交通輸送ニ関スル事項	大元准尉 村竹曹長	小早川軍曹 冠野伍長 篠本伍長 鎌本伍長	兵隊関係業務 分担、別ニ示ス
大木	経費ニ関スル事項	松本見習士官 山形軍曹 川端伍長	川久兵長 栗原上等兵	細部分担、別ニ示ス
中尉	衛生ニ関スル事項	松井軍曹 新藤軍曹	多田一等兵	細部分担、別ニ示ス
中尉	下右ノ如ク分擔スルモ業務ノ繁閑ニ依リ相互協力スルモノト 入			

別紙第一

夏六作命甲第ニ六九號

堀地部隊命令

十月一日十七時
ヨネス中學校

一「カガヤ」河ハ今尚増米三米餘ニテ「茶良渡」復舊意ノ如クナラズ

ニ部隊ハ夏六作命甲第ニ六八號ニヨル「サシケマゴ」集結ヲ延期ス

三「サシケマゴ」工兵隊ハ明日予ノ指揮ニ復スベシ

四木村見習士官ハ明日森澤分隊ト助分隊ヲ併セ指揮シ速ニ「茶良渡」

渡河施設ノ復舊ヲ計ルベシ

五稻買匠長以下十三名ハ明日「サシケマゴ」ニ至リ所屬小隊ニ復スベシ

六予ハ現在地ニ在リ

明日「サシケマゴ」ニ先立ス

部隊長 堀地 少佐

下達法 木村見習士官、稻買匠長ニ要旨口達

列級第ニ

陸軍部隊日日命令

陸軍兵長
陸軍上等兵

同同同同同同同同同

十月二日

寺	大	勝	秋	米	渡	西	眞	五	吉	柳	田
野	國	代	本	由	里	野	子	川	武	原	判
常	盛	傳	一	良	眞	秀	精	實	忠	忠	
義	次	郎	文	作	吉	雄	夫	通	一	吉	雄

1649

同同同同同同同同同同同同

越定山中澤山倉月三葉河禰伊松
知富下村院西巖隈好五相本藤島
義芳初甚龍逸種未政高龜丸兼
春幸義一一夫次人春次夫衛治巖

陸軍一等兵 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同 同

知 9

金原中山平土中 小川益西石 筵坂
築 高口 岡佐元 松西 田川 野田
繁 新 春 良金 茂 軍 秋 守 幸 三
藏 一 造 義 勇 次 一 美 一 人 二 郎 勇 六

1651

同同河同同同同同同同同同同同

田山豊内近久冲上栗高山嘉河越
村根田田藤保原森村橋中村野川
末松彦三早信秀桂快太信一那
一雄義情享郎夫雄招昭介義奇哉

同同同同同同同同同同同同同同同

10

牛塩山寺山三吉中川式灘千大砂

島田崎田本田質村只藤葉村田

宗彌徳尚平一武正武春學古秋

権平一吉一郎権貢義夫義一一三

1653

三
 精勤章ヲ附興入
 陸軍上等兵
 同 同 同
 下士官候補者ヲ命ス
 陸軍上等兵
 陸軍兵長ヲ命ス
 又

足田可藏
 川谷茂義
 多々納義智
 西川勇
 和田利男
 西川勇

十月二日

飛騨大

行動

一 八時三分木村見習士官ハ森澤辻脇面分隊ヲ
 併セ「奈良渡」復舊作業特ニ左岸棧橋ヲ構築ス
 二 八時三分楢貞伍長以下十三名ハ所属小隊復歸ノ
 多ク出發ス
 三 九時部隊長ハ「ガガヤ」河「奈良渡」三室ヲ復舊ヲ
 指導シ七時三分歸隊ス
 四 十二時太元准尉ハ連絡ノ爲本部位置ニ到着シ
 十三時三分歸隊ス
 五 十五時部隊長ハ「サンケ」^{San Kingo}「ゴ」ニ先行ス

備地

區分	本	分	隊	員	名	備	地
	二	七	一	二	五	一	地

第一小隊	第二小隊	第三小隊	第四小隊	第五小隊
一五				
一	一五			
一	一			
六	三	一	二	二
二五	五五	一五		
	十五名			
ヨネ又附連 サシヤテ	ヨネ又附連	ヨネ又附連	田邊部隊	渡邊部隊

1656

十月三日

上曜晴天

行動

六八時夏六作命甲第二七〇號ヲ下達ス

六九時ヨリ田荆兵長以下九名ハ本部ノシンケエラジ

間ノ電話撤收ヲナシ十一時終了ス

三 四時北内小隊長以下十八名ハイセリ西方ニ備之橋

復舊ノ為出發ス糧秣十日分ヲ携行ス

四 木村小隊長ハ奈良渡鋼索ノ張線ヲナシ急用自動

貨車四輛ヲ渡河セシメ引續キ渡河作業中ニ

三時頃鋼索切断シ作業ヲ中止ス

五十八時夏六作命甲第二七一號ヲ下達ス

命令

夏六作命甲第二七〇號

別紙第一

夏六作命甲第二七一號

別紙第二

別紙第一

夏六休命甲第ニ七〇號

堀地部隊命令

十月三日八時

一 池内小隊長、本三日一分隊ヲ以テ、イビリ西方、橋立橋、復舊ニ任スベシ

自動貨車ヲ属セシム

二 小早川軍曹、右自動貨車ヲ準備スベシ

三 大木主計中尉、木村池内、西作業隊ニ糧秣十日分ヲ交付スベシ

四 予、現在地ニアリ

部隊長 堀地少佐

下達法 各関係者ヲ集メ、要旨ヲ口達ス

別紙第二

夏六作命甲第ニモ虎

堀地部隊命令

十月三日十八時
サシキマゴ

一「奈良渡」ハ尚若干増水シアルモ作業進捗ト相俟チテ概ネ自働
貨車ノ通行可能トナレリ

二部隊ハ「サシキマゴ」集結ヲ急ダ前任務遂行ニ遺憾ナキヲ期ス

三在「ヨネス」部隊ハ明四日九時岡田中尉ノ指揮ヲ以テ「サシキマゴ」ニ復
歸スベシ

四河野兵長ハ明四日七時三分兵四名ヲ指揮シ道村隊「ヨネス渡」

渡河施設作業ヲ指導シタル後部隊ニ追及スベシ

五予ハ現在地ニ在リ

部隊長 堀地少佐

下達法 電話ヲ以テ「ヨネス」工兵隊ニ傳達ス

1660

十月四日
日曜 晴天

行動

一 在「ヨネス」部隊ハ九時岡田中尉ノ指揮ヲ以テ「ヨネス」出發九時
十分「奈良渡」ニ到着セルモ鋼索切断ノ故ニ通過不能ニ付一
部ヲ以テ作業ニ協方止時頃張線ヲ了シ直ニ出發ス十時三
十分「イピリ」西方「ガナ」川ニ到着セルモ同河渡河設備未完
成ニ付自動貨車ノ通過不能ナルヲ以テ小早川軍曹以下ハ
名、乘用車並ニ自動貨車四ヲ渡シ十六時「ガナ」川本筋
ニ到着ス

ニ 池内小隊ハ「イピリ」西方「ガナ」川ノ渡河設備ニ任ズ其ノ
主志作業左ノ如シ

ノ 西岸橋梁構築、張線、棧橋用「板」構築

三 午時道路補修ノタメ「ガナ」方面ニ轉進ニ関スル要旨命
令ヲ受領ス

1661

宿營地
並現員

區分	派遣	入院	出張	本務部	現員	摘要	宿營地
水部	二	七	一		三 三		サンチマゴ イロリ
第1隊				二			渡邊部隊
第2隊				二			田邊部隊
第3隊					主力 一〇		井ノ部隊 サンチマゴ
第4隊		一五	一	三	六 〇		イロリ
器械隊	一五	九	一	六	三 一 五		サンチマゴ イロリ

1662

別紙

電

報

十月四日二十時

夏休命甲第三六七號 要旨

兵團工兵隊長ハゴサレス(ガルメン東方約四料)附近到着
 ニ伴ヒ成可速カニゴサレス「ウミンゲン」間ノ道路ヲ補修シ自
 功半運行ニ要障ナカラシムベレ
 マ適宜「ゴナ」ノ「カシ」グ「ラ」線「タ」ス「ト」グ「ウ」ミン「カ」線ノ
 路偵察ヲナシ該道ノ補修ヲ準備スベレ作業ニ當ルテハ
 西南地區警戒隊ト密ニ連絡シ特ニ残存兵匪ニ對シ警戒
 戒ヲ嚴ニスベレ

十月五日
月曜晴天
行動

一 九時部隊長ハ「イビリ」西方橋立橋復舊作業ヲ
守見視指前守シタル後「エチヤ」ゲ聯隊本部ニ至リ
風被害復舊ニ関スル交通作業ノ打合せヲナシ十
三時歸隊ス
二 「ダリ」バン「渡河点(奈良渡)」ニ於テ渡河設備作業
中ノ木村見習士官以下十二名(辻脇分隊)ハ十七時
二十分歸隊ス
三 森澤分隊ハ依然奈良渡ノ渡河作業ヲ續行シ
原位置ニアリ
四 大元准尉ハ「イビリ」附近渡河設備ノ枝料整備
ノタメ「エチヤ」ゲ製材所ニアリテ同枝料ヲ準備
シ同渡河点ニ輸送シアリタルガ本日之ヲ了シ

十八時二十分歸隊ス

五 池内小隊(三分)ノ實質施シアル「イロ」渡河設備(輕
架橋)ハ本夕之ヲ概成シ自動車ノ通過ヲ許スニ
至ル

六 小早川軍曹以下七名ハ糧秣並ニ自動貨車監視
トシテ「イロ」附近ニアリンガ同渡河設備終了
件ヒ十八時五分サンケヤゴニ歸隊ス

七 暴風雨ニ依リ「巖島橋」流失セレニ付加藤製鐵
士官ハ連日ニ引續キ人員自動貨車ノ通過設備
ヲ實質施ス

經理
八 十三時大木主計中尉ハ兵一名ヲ伴ヒ經理業務
連絡ノタメ「エチヤトゲ」聯隊本部ニ至リ十六時歸
隊ス

命令

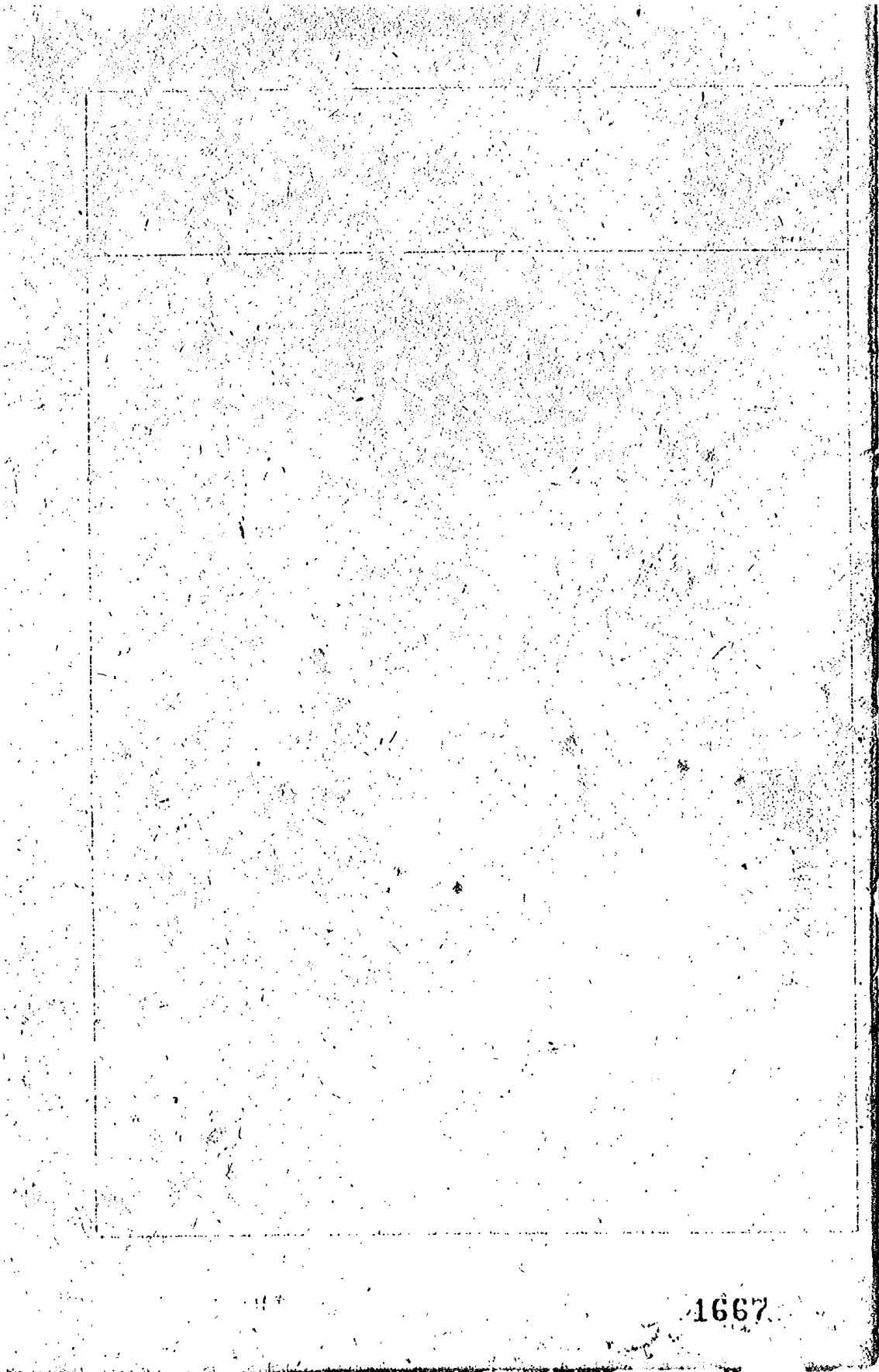
宿營地
現員

夏六作命甲第三七二號

別紙第一

區分	本郡	茅小隊	第一隊	第二隊	第三隊	器械小隊
派遣	二					一五
入院	七					九
出張	一					一
本郡						六
現員	三三	二	一	一	一	三
摘要						五
宿營地	イビンヤグ	渡邊部隊	田邊部隊	井手部隊	サンチヤグ	イヒリ

1666



1667

別紙第一

夏六作命甲第三七二號

堀地部隊命令

十月五日正時
サンケヤマゲ

一 夏六作命甲第三七二號ニ依リ部隊主力(本部一小)ハ「ロザレス」ニ至リ
兵團直轄タラシメラル

二 部隊ハ速ニ「ロザレス」ニ前進、準備ヲ實施セントス

三 第三小隊長ハ井手部隊長ノ指揮ヲ受クベシ

森澤分隊ヲ其ノ指揮ニ復歸セシム

四 第四小隊長ハ速ニ「サンケヤマ」ニ集結シタル後「ハヨンホン」ニ前進シ急遽其

ニ分隊ヲ以テ「堀地橋」ヲ補修シ自動貨車ノ通過ニ支障ナカラシム

ベシ 尚一分隊ヲ木村見習士官ノ指揮ヲ受ケシムベシ

五 木村見習士官ハ第四小隊長ノ一分隊ヲ以テ「サンケヤマ」ニ前進シ速ニ「曙橋」ヲ

自動貨車通過ニ支障ナキヤク補修スベシ

六 器材小隊長ハ直ニ現作業ヲ中止シ「サンケヤマ」ニ歸還シタル後一部ヲ以

テ轉移ノ為メノ器材ヲ整理スルト共ニ主力ヲ以テ「堀地橋」及「曙橋」補修

ノ爲ノ材料ヲ収集スベレ

尚前各項ニ伴フ人員器械ノ輸送ヲ担任實施スベレ

七 森澤軍曹ハ現位置ニ於テ原小隊ニ復歸スベレ

八 新藤衛生軍曹ハ木村見習士官ノ指揮ヲ受ケ、バンバシニ前進シ救護

ニ任スベレ

九 爾余ハ部隊主力轉移ノタメノ準備ヲスベレ出發ニ関シテハ別命ス

十 予ハ現在地ニ在リ

部隊長 堀地少佐

下達法 第三隊長ニ電話 第四隊長、森澤軍曹ニ傳令

ヲ以テ其ノ他關係者ヲ集メ口達後印刷交付ス

十月六日

火曜晴天

行動

- 一 山ヨシボシノレノハニシノ間ノ堀地橋及礮橋流失シ部隊主力ノ
 口ザレシ轉移ハ該所ノ自動車通過設備ヲ前提トスルヲ以
 テ兵團高級參謀定別紙送ノ如ク轉進遲延ノ趣ヲ打電
 ス
- 二 池内見習士官以下十八名ハ「イロリ」附近ガサレ川ノ所橋ニヨレ自動車
 ノ渡河設備ヲ終了十時十五分歸隊ス
- 三 村竹曹長ハ「イロリ」附近ガサレ川ノ架橋ヲ實施中ナルモ夏六
 夜命甲第モモニ號ヲ受領シ作業中止シ十時十五分歸隊ス
- 四 十時五分部隊長ハ「エタマ」デ井牛部隊本部ニ至リ部隊旁
 轉出ニ伴フ交通作業輸送ノ多ク自動車及燃料等ノ連絡
 ヲナシ十二時五分歸隊ス
- 五 井牛支隊配屬セラレ「ヒナガ」方面ノ交通作業ニ任シアリタル

第三小隊長北村中尉以下三名ハ十時四分異状ナクサンケマゴ
ニ到着ス

六 禪院上等兵以下三名ハ井手支隊本部ニ命令受領者トシテ
派遣中ナリシガ部隊主力轉出ニ伴ヒ十時五分本部ニ復歸ス
七 十時五分北内小隊長以下三名ハ「バヨ」ボシ「南方」掘地橋
復舊ノ多ク自動貨車ニ輻ニヨリ木村見習士官ハ第四小隊
ノ辻脇兵長以下十五名ヲ指揮シ「バ」シ「北方」曙橋ノ補修ノ
タメ夫夫該地ニ向ケ出發ス

同時器械小隊長以下九名ハ前記函小隊ノタメノ渡河材料收集
運搬ノ多ク自動貨車一輛ヲ以テ同行出發ス

八 十時電話ニヨリ別紙第三ニ如ク復命甲第三六七號ノ任
務終了後ハ「ト」ザ「サ」ヲ「集結」スベキ兵團命令ノ要旨ヲ受領
ス

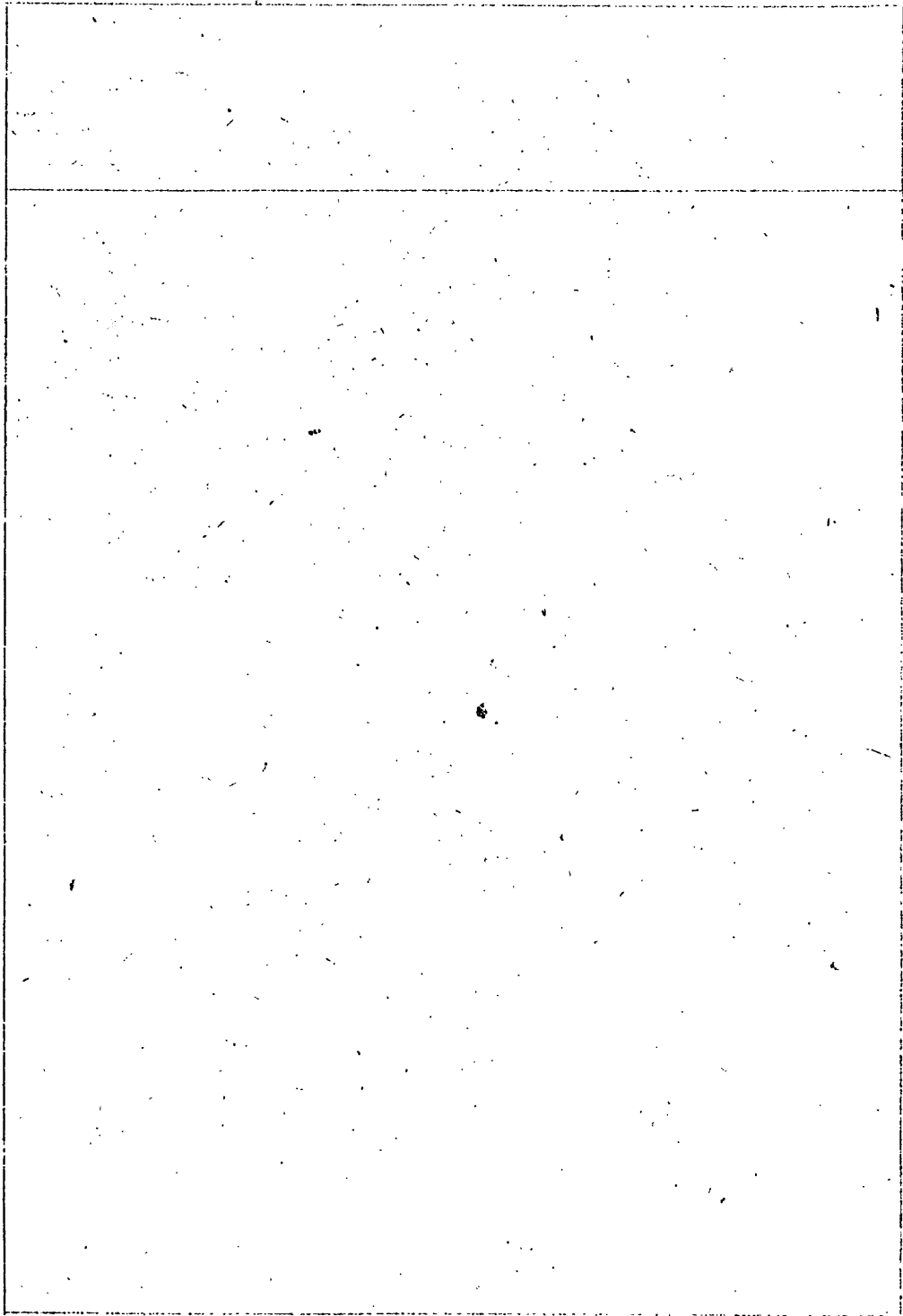
電報

宿營地
並理員

興團高級參謀宛電報
夏次命甲第三號要旨

別紙第一
別紙第二

區分	派遣	入院	出張	本務	理員	摘要	宿營地
本部	二	七	一		三五		サニナヤバ
第一小隊				二			渡邊部隊
第二小隊				二			田邊部隊
第三小隊	一	六			三〇 一 兼理員		サニナヤバ ダリグバン
第四小隊	一五			三	五〇		バンバン サニナヤバ
器械小隊	一五	九	一	六	三七 九		バンバン サニナヤバ



1673

別紙第一

兵圍高級參謀宛

工兵隊長

夏休命申第^{三六七}號要旨ハ十月五日ニ時受領九月
二十日颶風、多ク東地^區主^要橋梁、殆^ド流失セシヲ以
テ目下主力前進、多ク銳意作業實施中ニシテコサレ
ズ到著、大凡十月十五日頃トナル見込

1674

別紙第二

電 話

十月六日十五時受

軍隊區分

旅團工兵隊(長堀地少佐、旅團工兵隊三小欠)

獨立工兵第三聯隊示隊(堀井小隊)

夏九八五三部隊無線一分隊

夏依命甲第三七號要旨

一 東地區警備隊ニ對スルモノニ同ジ

ニ 旅團工兵隊ノ主力ヲ以テ夏依命用第三六七號ノ任務ヲ遂

行シタル後可成速ニ~~北~~西方ニ~~行~~シ(サングア)附近ニ集

結スベシ

獨立工兵小隊ハ依然現任務ヲ續行スベシ

十月七日

水曜日

行動

- 一 七時部隊長ノ作業實視ニ関スル莫六隊分甲第三三號ヲ下達ス
- 二 部隊長ハ「ヨホント」ノ少間堀地橋及踏橋ノ流失箇所ニ於テ
ル自動貨車通過設備作業實視ノタメ松本見習士官ヲ伴ヒ、時
五分「サシケヤ」ヨリ出發ス
- 三 第三隊長北村中尉以下十名ハ輕機ニテ自動貨車一輛ニヨ
リ前項部隊長ノ警戒ニ任ジ同時出發ス
- 四 九時後方交通作業ノ多急行シ其ノ實施ニ當リタル池内小隊長ヨ
リ踏橋ハ昨日通過可能堀地橋ハ今日完了ノ予定ヲ報告ヲ
受領ス(別紙第三)
- 五 十九時五分第一次内地還送遺骨ハ十月五日無事閉口ス
- 六 日宇品ニ到着スル予定ノ電報ヲ受領ス

24

命令
報告
宿營地
並現員

六 兵團宣傳班ガシヤゴニ束隊シテ十八時ヨリガシヤゴ吹畫館ニ於テ二三ノ其地宣傳宣撫映畫ヲ公開實施ス勤務ニ支障ナキ限リ觀覽ヲ許可ス

夏六夜命甲第ニ三號
池内小隊作業報告

列款第一
列款第二

區分	派遣	入院	出張	本務	現員	摘要	宿營地
本部	二	七	一	一	三三		サンヤマゴ
第一隊				二	二		渡邊部隊
第二隊				三			田邊部隊
第三隊	一	一六			三〇 一三 一八 東海守		サンヤマゴ
第四隊		一五		三	五〇		サンヤマゴ
器械隊	一五	九	一	六	九		サンヤマゴ

別紙第一
夏六作命 申第三三號

堀地部隊 命令

十月七日七時
サンケヤゴ

一 北村小隊、五虎道前進路補修實施間主カニ協カセシメラル
二 予、本七日九時出發、ヨコボンレーバンバング間、交通作業ヲ實
視セントス

三 北村小隊長、其一分隊ヲ以テ予、前項出張間之カ警戒ニ任スベシ

四 器械小隊長、前項輸送、多乘用車及自動貨車各一輛ヲ九時

出發シ得ル如ク準備スベシ

五 松本經理部見習士官ハ予ニ隨行スベシ

六 前各項人員、糧秣一日分並ニ蚊帳寢具ヲ携行スベシ

七 予、現在地ニ在リ

部隊長 堀地少佐

下達迄 各関係者ニ要旨ヲ口達

別紙第二

池内小隊作業報告

十月七日九時受

一 小隊、昨日ヨリヨシホシニ宿營ス。雷雨、昨日ニ引續キ依然トシテ降ッ
ツアリ

二 堀地橋ハ右岸ヨリ三橋筋ヲ残シ其他ハ全部流出セリ水深ニ五米
偵察ノ結果堀地橋ヲ補修スルニ決ス
材料ハ約上ノ収集ニアリ

三 小隊ハ本日ヨリ徹夜作業ヲ實施ス。十日二十四時迄ハ完成ノ見込
ハトウ一門橋渡ハ本日中ニ完成ノ見込

四 曙橋ハ昨日自動貨車通過可能

五 木村隊ハ我ニ協力シ木村見習士官ハ本日早朝偵察ト多ク出發セリ

十月八日

水墾晴後雨

行動

一 「タリブバン」奈良渡、渡河作業中、森澤分隊、野砲中隊ニ
任務ヲ引継ギ、十時果カ小隊ニ復歸ス

二 十時果カ夏次命、甲第ニシテ四號ヲ下達ス

三 部隊長ハ「ヨシホシ」アリタオ「問」堀地橋及「曙橋」復舊作業
指導ヲタメ出張中、十三時ニ果カ歸隊ス

四 鎌田大隊ニ配屬中ノ第果カ隊、山崎伍長以下十名、十八時
部隊ニ復歸ス

衛生 五 十六時ヨリ兒玉軍醫中尉ハ、第三、第四小隊ノ種痘ヲ實
施ス

電報 六 十時ニ果カ兵團高級參謀ヨリ夏參電第一〇七號ヲ受
領ス

命令

宿營地
並現員

夏六作命甲第一三三號
夏參電第一〇七號

別紙第一
別紙第二

區分	本館	第一隊	第二隊	第三隊	第四隊	器械隊
派遣	二					一五
入院	七				一五	九
出張	一				一	一
本館						六
現員	三五				三	二九
摘要					四一	二九
宿營地	サンケヤゴ	渡邊部隊	田邊部隊	サンケヤゴ	サンケヤゴ	サンケヤゴ
				桑海軍	バンバンゴ	バンバンゴ

別紙第一
夏六作命甲第三四號

堀地部隊命令

十月八日十時四分
サシヤゴ

一 堀地橋及曙橋流失後、復舊補修作業、地方民ノ協力、下ニ著々進
持シ大凡十日迄ニハ作業概成シ通過可能ノ見込ナリ

二 部隊ノ破壊五號道ノ補修ヲ更ニ擴充シ交通ノ圓滑ヲ期セントス
三 加藤見習士官ハ第三小隊一分隊ヲ指揮シ明九日出雲橋ノ補修
作業ヲ實施シ速ニ之ヲ完成スベシ

自動貨車ニ輛ヲ屬ス

四 北村中尉ハ山崎分隊ヲ併七指揮シ「サシヤゴ」宿營地ノ警戒ニ任ズル
ト共ニ明九日一分隊ヲ加藤見習士官ノ指揮ニ入ラシメ橋梁補修
ニ任セシムハレ

五 森沢分隊ハ現行渡河作業ヲ野砲中隊ニ申送り速ニ「サシヤゴ」ニ
歸還シ原小隊長ノ指揮ヲ受クベシ

六 山崎分隊ハ「サシヤゴ」ニ到着セバ該地ニ位置シ北村中尉ノ指揮ヲ

以テ宿營地ノ警戒ニ任スベシ

七 器械小隊長、前任務ヲ續行スル外、道ニ自動復車一輛ヲ「ヨネス」
渡河点ニ至ラシメ、山崎分隊ノ輸送ヲ實施スルト共、朔九日架
橋作業ノ多ク二輛ヲ加藤見習士官ノ指揮ニ入ラシムベシ

八 予、現在地ニテリ

部隊長 堀地少佐

下達法 各關係者ヲ集メ要旨ヲ達後印刷配布

別紙第一

夏参電第一〇七號

十月八日午後三時

受領

一 兵團工兵隊長ニ傳ヘラレ度

夏六電第七號ノ件差支ヤマモ橋梁復舊ノ爲ニ一部
幹部及ビ所要人員ヲ殘シ州側ヲ指導シテ實施セシメ
部隊ハナルベク速ニ次ノ任務ニ就カレ度

依命

十月九日

金曜晴天

行動

一 加藤見習上官、第三小隊坂本兵長以下八名並ニ自動貨車
ニ輛ヲ指揮シ出雲橋補修、爲ハ時三分出發、三時四十分定
歸隊ス

二 同時田刈軍曹、第三小隊配屬自動貨車修理、爲「バンバン」
クニ向ヒ出發ス

三 第三小隊田中伍長以下九名、地方民五名ヲ俵役シ復舊水
業ニ任ズ

四 十時池内小隊長ヨリ左ノ報告アリ

池内小隊、夜ヲ徹シ作業續行中ニテ副列柱ヲ完成ス

日十七時迄ニ自動貨車、通過可能ノ見込

五 村竹曹長、池内、木村兩小隊ノ材料收集ヲ終リ十七時歸隊
ス

宿營地
並現員

命令

堀地部隊日日命令

別紙

第一

器械小隊	第一小隊	第二小隊	第三小隊	第四小隊	本部	區分
一五		一			二	派遣
九	一五	一六			七	入院
一	一				一	出張
六	三		二	二		本部 帳務
二 九七	一五 〇〇	一四 三			三五	現員
						摘要
バンケヤゴ	バンケヤゴ	東海岸 バン	サンケヤゴ	田邊部隊	渡邊部隊	サンケヤゴ
						宿營地

一 陸地部隊日日命令

十月九日

陸軍兵長

有田正良

同上等兵

阿吹主一郎

同

原田政明

同

橋高仁作

同一等兵

三田一郎

同

田中誠三

同

岡本榮一

免本部服務

陸軍伍長

藤政敏珊

命第四小隊附

陸軍上等兵

栗原玄了

同 一等兵

前原二郎

命 器杖小隊編入

四 免 酒保掛助手 陸軍上等兵

命 同 同 同

右 願書ノ通り免命ス

五 陸軍上等兵

同 同

同 一等兵

命 第三小隊編入

六 陸軍兵守長

同 一等兵

同 同

同 同

同 同

同 同

阿吹主一郎
栗原玄了

禪院龍一

田辺平治

窪田止水

河野春煥

多田一男

村上誠彦

三丸初男

河野一春

山中太介

命本部編入
陸軍一等兵
當分ノ間本部服務ヲ命ス

窪
田
止
水

32

1689

十月十日
土曜晴天
行動

一 第三隊田中伍長ノ實施シタル「サンヤ」東端ガナリ川
再度ノ架橋作業（全長六十二米）ハ本日十二時終了ス作業
内容如次

作業日	作業時間	工事	員
九日	八時三十分～九時	九	五〇
十日	八時～九時	三六	五六

本架橋ハ上下流両岸ニハ鐵線四鍍ヲ連結シ一端ヲ左
岸ノ喬木トシ立木ニ固定シ急高水時ノ場合ニ毛之リ流失
ヲ防止スル如クス

1690

宿營地
並現員

區介	本部	第一小隊	第二小隊	第三小隊	第四小隊	第五小隊	第六小隊
派遣	二		✓				
入院	七		✓	✓			
出張	一		✓				
本務					三	二	二
現員	三五		四五	四三	五〇	七〇	七〇
摘要							
宿營地	サンケヤゴ	渡邊部隊	田邊部隊	サンケヤゴ 東海岸	バンバノング	サンケヤゴ	バンバノング

十月十一日
日曜晴天

行動

- 一 八時部隊主力ノ出發ニ関シ夏六夜命甲第二七五號ヲ下達ス
- 二 九時夏六夜命甲第二七六號ヲ下達シ急患(狂大病)入院者ヲ「バヨンボン」患者療養所ニ輸送セシム
- 三 第三小隊配屬自動貨車修理「タメバンバン」ニ出張中ノ田刈軍曹ハ七時修理完了シ歸隊ス
- 四 部隊ノ輸送ヲ担任スル兵站自動車隊(武内隊)自動貨車十
六車輛ハ溝口少尉ノ指揮ヲ以テ七時「サンヤマゴ」部隊本部ニ到
着ス
- 五 本部及器械小隊ハ命令ニ基ク配車區分ニ依リ七時ヨリ積載
ヲ實施シ十四時ニ分終ル
- 六 急病入院患者ヲ「バヨンボン」ニ輸送シタル自動貨車及其ノ
警乗兵ハ十六時異状ナク歸隊ス

